

●9月に発表した万世大路・大滝宿から3ヶ月。なんとか続編・大平宿を完成させることができました。時間を食ったわりには大したボリュームになってませんね・・・。  
藪道も出て来ないですし、万人が読んで楽しめる内容ではありませんが、何年か後にでも誰かの目に触れ、資料として役に立つことがあれば幸いです。（つ）

●全く編集に携われていないのに、編集部員として編集後記に名を連ねるのが辛い。今月も私は休稿です。  
理由は、昔から不定期で依頼があればやっている、とある調査のアルバイト（その内容は様々で、最終的には行政機関のデータや発行物として蓄積されるもの）が、2件もほぼ同時に舞い込んできたこと。さらに「廃道ビヨンド」の撮影とも重なり、昨年と同じ時期以上の、壊滅的てんてこ舞いに…。

何か廃道に関する本を執筆しているとか、最終的に廃道ファンの皆さまの手に届くものを作るための休稿ならば、まだお詫びもしやすいのですが…。これもより遠くの廃道へチャレンジするための準備と、どうかご理解下さいませ。（ヨッキレン）

●先日、兵庫県印南郡にあった煉瓦工場（播州煉瓦合同岸工場）で手成形で煉瓦を作っていたという方とお会いし、話を伺う機会がありました。貴重なお話がたくさん聞けましたよ！ 例えば煉瓦刻印は、煉瓦を整形する時に押していたのではなく、その一日後に別の作業のなかで押されていたとか。それも専用のハンコを用意したのではなくて、ひっくり返す時に使う板に刻印が作り付けられていて、それで刻印がつく仕組みだったそうです。戦前にお父上が日本煉瓦で働いていたそうで、その関係で播煉に「移籍」し、自分も煉瓦作りに関わるようになったとも伺いました。上記のやり方、実は日本煉瓦時代のを継承しているのかも知れません。ともかく、以前書いた煉瓦の記事は、ずいぶん書き直す必要がありそうです・・・。  
この懇談の場を用意して下さったFさん、（株）バンレンのご担当様、そして話をして下さったOBお二方には無上の感謝です。伺った話はきっと記事にし後世に残します。（な）

BEAR TYRE